

PHPの脆弱性への対応等に関する緊急幹部会議

日時：令和 8 年10月23日(金) 16：00～16：15

場所：県庁 3 号館10階庁議室（オンライン併用）

- 1 急激に高まるサイバー攻撃の状況
- 2 PHPの重大な脆弱性及びその影響
- 3 県が運営するPHPを利用したサイトへの影響と対応
- 4 PHPを利用する市町・事業者等への注意喚起
- 5 サイバーセキュリティ対策のさらなる強化

【出席者】

(本席)

所属・職名等	氏名
知事	齋藤 元彦
副知事	守本 真一
副知事	守本 豊
防災監	池田 頼昭
技監	安達 孝実
理事	有田 一成
総務部長	福山 雅章
企画部長	川井 史彦
DX推進監	妹背 勝幸
財務部長	中之藺 善明
県民生活部長	田中 序生
危機管理部長	唐津 肇
福祉部長	内藤 良介
保健医療部長	山下 輝夫
産業労働部長 (代理：産業労働部次長)	増澤 清嗣
農林水産部長	菅村 哲也
環境部長	上西 琴子
土木部長	宇野 文章
まちづくり部長	松浦 純
会計管理者	秋山 徹志

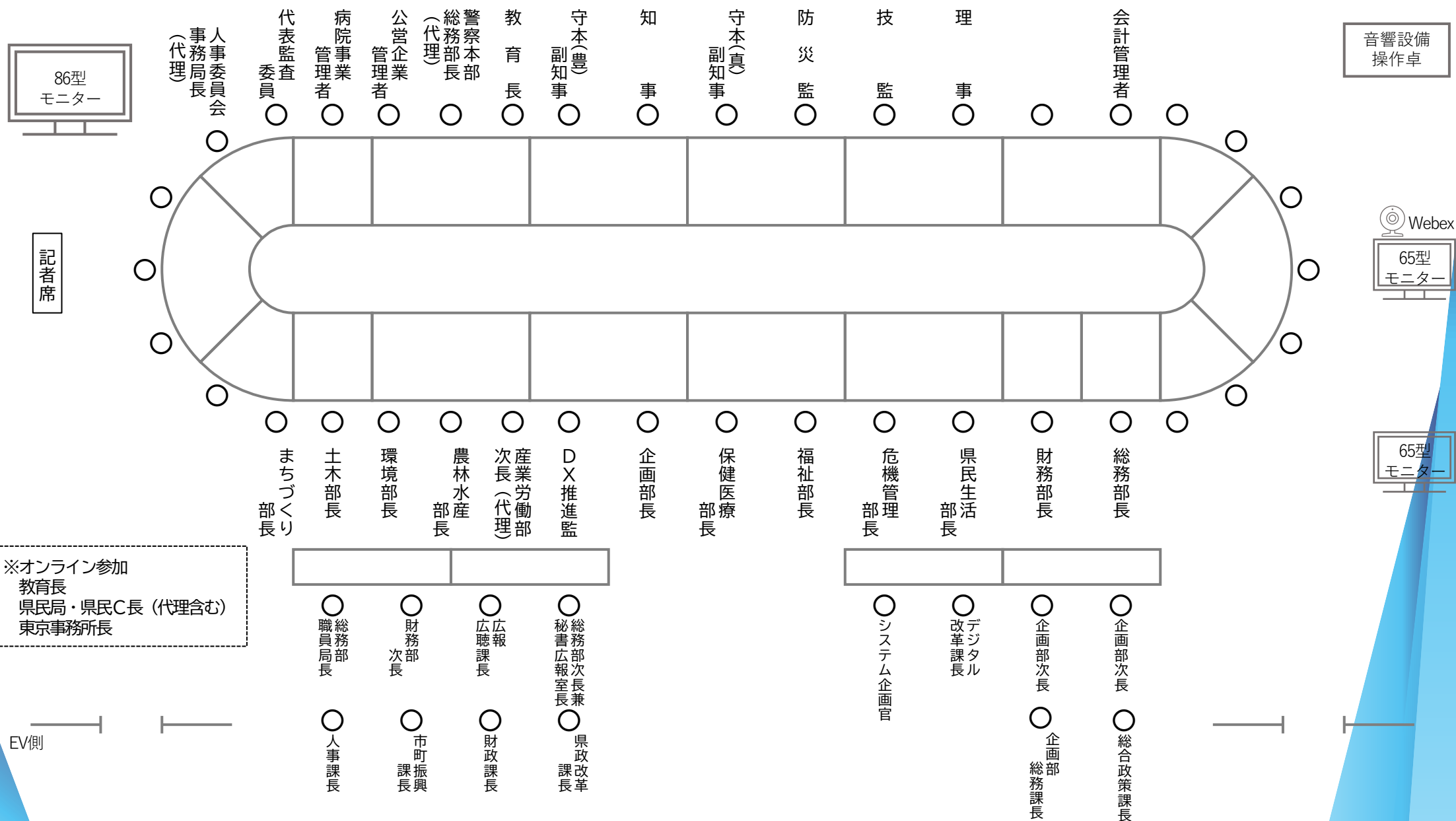
所属・職名等	氏名
公営企業管理者	梶本 修子
病院事業管理者	杉村 和朗
教育長	木村 晶子※
代表監査委員	高永 徹
人事委員長 (代理：人事委員会事務局長)	三宅 ゆかり
警察本部長 (代理：総務部長)	澤田 義雄
神戸県民センター長	小倉 陽子※
阪神南県民センター長	團野 礼子※
阪神北県民局長	小野山 正※
東播磨県民局長 (代理：東播磨県民局副局長)	木南 晴太※
北播磨県民局長	梅田 孝雄※
中播磨県民センター長	井野 健三郎※
西播磨県民局長 (代理：西播磨県民局副局長)	岡本 和久※
但馬県民局長	上田 英則※
丹波県民局長	福井 昌樹※
淡路県民局長 (代理：淡路県民局副局長)	宮崎 伸一※
東京事務所長	岩原 直子※

(陪席者)

所属・職名等	氏名
総務部次長・秘書広報室長	富田 恵一
総務部職員局長	波多野 武志
企画部次長	井筒 信太郎
企画部次長	飯塚 知香子
財務部次長	近藤 巧
広報広聴課長 (代理：広報広聴課副課長)	西山 和彦
市町振興課長	平野 祐次
人事課長	佐藤 正明
総合政策課長	神山 道彦
財政課長	中村 正紀
県政改革課長	山本 晃司
企画部総務課長	鳥田 信次
デジタル改革課長	上野 健全
デジタル改革課 システム企画官	内海 正仁

※：オンライン出席

PHPの脆弱性への対応等に関する緊急幹部会議 配席図 令和8年10月23日



1 急激に高まるサイバー攻撃の状況

4

- 本年9月以降、全国的にサイバー攻撃による被害が続出
- 10月14日、本県においても、県が利用する一斉情報配信サービスの提供事業者が不正アクセスを受け、情報漏えいが懸念される事案が発生
- 本県では、これまでから世界的なリスクの高まりを踏まえた人的・組織的対策の強化を実施（別紙）

2 PHPの重大な脆弱性及びその影響

- 10月21日、国家サイバー統括室より、Webシステムを動作させるプログラミング言語（PHP）に重大な脆弱性が存在する旨の注意喚起がなされ、対応が急務となる。
※本脆弱性を起因とする不正アクセスや情報漏えい等の被害は確認されていない
- 今回の脆弱性は、外部から認証なし（ログイン不要）で不正なデータを送り込むことにより、攻撃者にサーバ上で任意のプログラムを実行されるおそれのある極めて深刻な脆弱性である。（**深刻度は最高ランク**）
- 脆弱性を放置した場合、攻撃者による不正アクセスやWebサイトの改ざん、情報の窃取、サーバの乗っ取り等につながる可能性がある。
- ひとたび被害を受けた場合、県民サービスの停止や県民の個人情報漏えいなど、行政運営に大きな影響を及ぼすこととなる。

PHPとは：Webサイトやオンラインサービスの開発で広く利用されているプログラミング言語であり、多くのWebサイト等（**報道では全世界で約7割**）に利用されている。

3 県が運営するPHPを利用したサイトへの影響と対応 5

対応状況

10/21	・ 全庁への注意喚起
10/22 AM	・ 各部局等の総務担当課を参集し、必要なセキュリティ対策が講じられるまでの間、原則としてWebサイトの公開を停止するよう指示
10/22 PM	・ 全Webサイト（459件）の影響及び対応状況調査を実施

影響調査結果（10月23日 12時時点）

- ・ PHPの利用が無かったサイト **109件** （例：電子入札システム、e-県民登録サイトなど）
- ・ PHPを利用しているが、対応が完了し公開しているサイト **232件**
（例：ひょうごで働こう！マッチングサイト、性犯罪・性暴力被害者に関するLINE相談窓口など）
- ・ PHPを利用しており、一時的に公開を停止しているサイト **118件**
（例：公共施設予約システム、兵庫県オープンデータカタログなど）

県民に向けた対応

- ・ 県が運営するWebサイトへの影響及び対応状況について、毎日16時時点の対応状況（停止中、復旧済など）を、翌朝、県公式ホームページにて公表 ※週末を除く

PHPのバージョン確認

サポート対象
(PHP8.2以降)

最新のセキュリティパッチを速やかに
適用すること。
(通常のセキュリティアップデートで対応可能)

完了

サポート対象外

動作保証が取れる場合は、PHP8.2以降の
バージョンへのアップグレードを実施
すること。

完了

PHP8.2以降のバージョンへのアップグレード
による動作保証が取れない場合

システムベンダーと対応を協議

PHP公式のサポートが終了したバージョンに対して、ベンダー独自のセキュリティパッチの提供が可能か確認

可能

・ 当該セキュリティパッチを適用
すること

不可

・ システム改修が必要

- **市町に対する注意喚起**

10月22日、企画部より実施

- **重要インフラ事業者（金融、情報通信など）に対する注意喚起**

10月22日、県警より実施

- **中小企業等に対する注意喚起**

所管部局より実施中

5 サイバーセキュリティ対策のさらなる強化

- 委託先・再委託先を含めたセキュリティ対策の徹底について**注意喚起を継続**
- 主要システムを対象に、深刻な被害発生を想定した**机上訓練を実施**
- **システム停止時の業務継続手順を策定**
(業務の優先度を精査し、オフラインで業務を継続)

時期	対応
4 月	情報セキュリティ対策指針の抜本改正
6 月	サイバー攻撃のリスクの高まりを踏まえたCISO通知の発出
6 月～	主要 9 システム（防災・税務・電子カルテなど）を対象とした実践的IT-BCP策定に向けた勉強会を定期的に開催中（以降、8 月、10 月、11 月、2 月開催）
7 月～	インターネット上で公開するWebサイトに対する脆弱性チェックの実施（11 月まで随時）
9 月	全職員を対象とした標的型攻撃メール対応訓練の実施
10 月	サイバー攻撃のリスクの高まりを踏まえたCISO通知の発出
10 月	委託事業者も含めた情報セキュリティ確保のための総点検の実施（11 月まで）